いまかね教育かわら版
こんにちは教育委員会です
ふたたび

No.２３６
令和８年（2026）８月１２日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

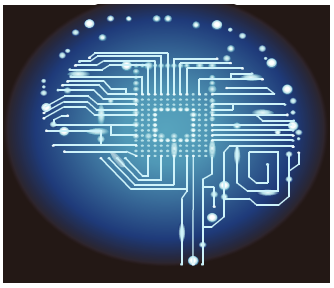
生成AIの利活用

学校現場での生成 AI の利活用について文科省から関連答申が出されて２年。この度発出された教育課程部会各教科等ワーキングチーム取りまとめの中には、「２０４０年」「少子化× AI 時代」「データの集計・分析」といった文言が多く表出してきます。

国語科ワーキングチームでは、生成 AI が飛躍的に発展するとともに、社会の多様性と分断の危険性の双方が増すことが想定されるこれからの社会においては、「自らの考えを言葉とし」、「論理的に表現し」、「多様な他者の感性や情緒を理解」、「自らの思いや経験を効果的に表現する力」、「他者と協働して考えを深める力」という文言が目に入ります。

『人間ならではの力の育成が必要』という一文にはホッと安心感を覚えます。

情報技術やメディアの特性やリスクについて理解し、メディアリテラシーを働かせながら、ルールやマナーを守って安全に活用できる力の育成…と情報部会にも。



一方で直近で話題となっている＜ AI の暴走＞のニュース。

以前、「人間が上かコンピューターが上か」といった講義で、講師から「簡単ですよ！人間が上です。コンセントさえ抜いてしまえばいいんですから」と教授された日を思い出しています。

その時は納得していたのですが、今考えるに、大規模な冷却装置が必須な現在のコンピューターで電源を落とすことは困難であろうと想像できますし、その環境下で生成 AI が自らスイッチを入れ、侵入、暴走をできるとしたら、恐ろしい話だと素人ながら思うのでした。



盛夏



「今金町二十歳を祝う会」「お盆ボンボン盆祭り」「今金町戦没者追悼式」

お盆です。我が家にとっても初盆。これまでの人生、妻の両親含め、結局身内の誰の最期にも会えないでここまで来た自分ですが、その分、まだいなくなったことにピンと来ていない自分がいるのも感じることがあって。

振り返るとこれまで親不孝なお盆時期ではありました。海岸線の学校に勤めていた時は、この時期は地域の祭典で里帰りはできなかった。近々では主催の行事もあって…。だから自分も、家族が帰って来られなくても我慢しなきゃ(*'▽')な、と。

そうだなあ。自分の最期も家族とは会えないかもなあ(*^▽^*)それはしかたのないこと。納得。こんなことを思うのもお盆の季節だからでしょうか。皆様よいお盆を



役場の PC が新しく更新されました。が、文書ソフトも変更になり、体裁も変更しました。気分一新で発行してまいります。